



焼津水産化学工業株式会社

# BUSINESS REPORT 2012

平成24年3月期 中間報告書 [平成23年4月1日～平成23年9月30日]

## 天然素材のフィールドで、 “おいしさと健康”を追求します。

代表取締役社長

### 山本 和広



### 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては日頃、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに平成24年3月期 中間報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

最近の食品業界におきましては、景気回復の遅れによる消費者の節約志向により、外食産業は低迷していますが、弁当や惣菜などの中食業界や低価格商品は堅調に推移しております。一方、停滞していた健康食品市場は再び上昇に転じる気配があり、知名度の高い機能性素材がサプリメントだけでなく一般食品へ利用されるなど、応用範囲が拡大しています。

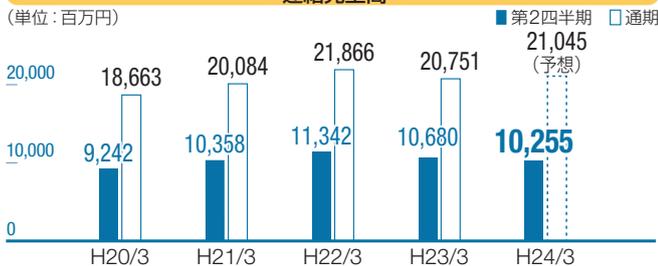
当社グループはこのような環境に対応するため、自らの強みを最大限に生かした施策を推進しております。調味料市場につきましては、独自の加工技術を取り入れ差別化した製品を展開し、得意とする水産系調味料のシェア

アップに取り組んだ結果、調味料の業績は上昇傾向にあります。機能食品は、新規取引先の開拓や飲料・美容分野など新たなマーケットへの配合提案を積極的に推進しました。海外市場については、円高による価格競争力の低下や放射能問題による諸外国の輸入規制などから計画に遅れが生じていますが、日系の海外進出企業への営業展開を強化したことで、現地で製造する調味料は着実に実績を伸ばしています。

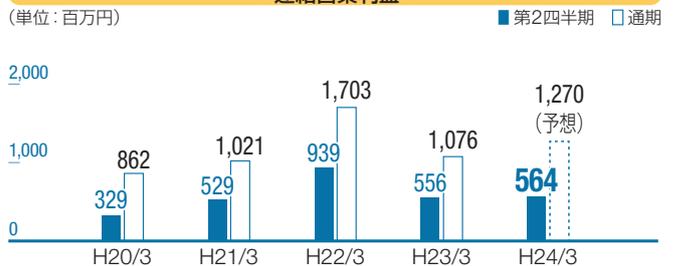
引き続き当社グループは、新規取引先への営業強化や不採算製品の見直しなど構造改革を推し進め、利益を重視した筋肉質な企業体制を構築し、企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様のご理解を賜り、今後とも末長いご支援をいただきますようお願い申し上げます。

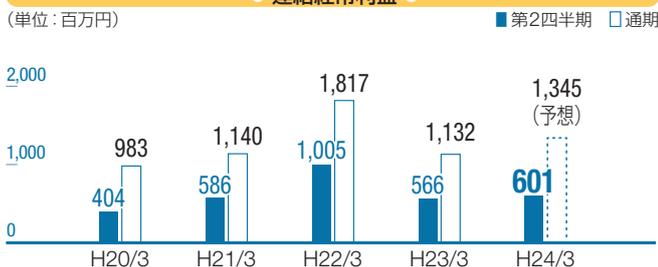
#### ● 連結売上高 ●



#### ● 連結営業利益 ●



#### ● 連結経常利益 ●



#### ● 連結四半期(当期)純利益 ●



※ 水産物の問屋口銭に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価に計上する方法(総額表示)を採用していましたが、当期より、売上高から売上原価を控除する方法(純額表示)に変更しました。これに伴い、前期についても遡及適用しております。

## 営業概況

当社グループは、利益を重視した筋肉質な企業体質の構築を目的に経営施策を遂行してまいりました。

具体的には、新規取引先への営業強化や不採算製品の見直しを行うとともに、生産効率の改善や経費削減を徹底し、採算性の改善など経営基盤の強化に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、機能食品の受

注が落ち込んだことから、売上高は102億55百万円(前年同期比4.0%減)となりました。

利益面におきましては、製造経費や販管費の削減を推進し、営業利益は5億64百万円(同1.6%増)、経常利益は6億1百万円(同6.3%増)、四半期純利益は3億55百万円(同23.8%増)と増益を確保することができました。

## セグメント情報

天然調味料の製造

調味料の受託加工

### 調味料

売上高構成比  
39.0%

売上高 **40億 3百万円** (前年同期比 +2.8%)

セグメント利益 **4億 28百万円** (前年同期比 +19.3%)

調味料事業は、国内消費の伸び悩みから需要は頭打ちの状況の中にありますが、当社が得意とする水産系調味料のシェアアップに取り組み、液体調味料、粉体調味料とも上昇傾向にあります。

#### 天然調味料

カツオエキス 昆布エキス ホタテエキス  
カニエキス オイスターエキス etc.

機能性食品素材の製造

医療栄養食(流動食の受託製造)

健康食品の通信販売

機能食品の受託加工

### 機能食品

売上高構成比  
37.7%

売上高 **38億 66百万円** (前年同期比 -11.9%)

セグメント利益 **4億 66百万円** (前年同期比 -8.4%)

前期に引き続き一部取引先向け製品の大幅な受注減があり苦戦を強いられる中、医療栄養食が伸長しました。機能性食品素材は、価格競争が激化する厳しい環境下であり、新たな分野、新たな取引先の獲得に取り組みました。

#### 機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンセリン  
マリンコラーゲン フコイダン コンドロイチン硫酸 etc.

水産物の問屋業 倉庫業 水産物の加工

### 水産物

売上高構成比  
13.8%

売上高 **14億 10百万円** (前年同期比 -3.9%)

セグメント利益 **63百万円** (前年同期比 +6.7%)

国内消費低迷に伴い販売部門が伸び悩むものの、効率化や経費の削減で減収増益となりました。

香辛料の製造

その他商品

### その他

売上高構成比  
9.5%

売上高 **9億 75百万円** (前年同期比 +4.9%)

セグメント利益 **37百万円** (前年同期比 -8.5%)

香辛料は新たに大手量販店向けに採用されるも価格競争が激しく利益面には貢献できませんでした。

※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用(4億31百万円)控除前のものです。

## 中期経営計画「Challenge & Growth」の数値目標の修正について

当社グループは、「天然素材の持つ無限の可能性を追求し、“おいしさ与健康”を通して、豊かな生活に貢献します」の企業理念のもと、研究開発型・環境配慮型である事業の強みをより鮮明に打ち出し、成長路線を築くとともに、積極果敢に挑戦を繰り返し、更なる成長を目指すことを目標に平成22年から3カ年中期経営計画「Challenge & Growth」を推進しております。

しかしながら、当初想定した以上に国内消費の低迷が続き、低価格志向が進展し価格競争が厳しさを増しているほか、急激な円高や東日本大震災の影響から国内外ともに営業基盤の変化が大きく、現状の市場環境からは、現中期経営計画の実現は困難が想定されるため、最終年度の数値目標について修正することといたしました。

なお、中期経営計画の基本方針及び重点施策につきましては今後も引き続き推進するものとし、更には利益を重視した筋肉質な企業体制の構築を目的とした今期の経営施策を遂行し、業績向上にグループ全体で取り組んでまいります。

### 中期経営計画「Challenge & Growth」

#### ● 基本方針(変更なし)

1. 社会・顧客対応の充実
2. 優位性の創造と育成
3. 組織力の強化と連携
4. 人材育成の強化
5. 増益体質の強化

#### ● 重点施策(変更なし)

1. N-アセチルグルコサミンの拡販
2. 海外市場への積極展開
3. CVD2号機の安定稼働と販売強化
4. YSKブランドの育成

#### ● 連結数値目標(修正後)

	平成24年度
売上高 (百万円)	20,800
営業利益 (百万円)	1,345
営業利益率 (%)	6.5

## コラーゲンゼリー新発売

当社のグループ会社、UMIウェルネス株式会社が「コラーゲンゼリー」を新たに発売しました。当社が世界に誇る理想の美容成分「海洋性コラーゲン」2,500mg、「天然型グルコサミン(N-アセチルグルコサミン)」500mgをひとつに凝縮しました。さわやかなアップル味のゼリーで、とにかくおいしく食べやすい。スティックタイプの個装で携帯にも便利です。手軽だから、いつでもどこでもおいしく続けられます。

1箱(30本入り)価格	
通常価格	定期お届けコース
3,900円+送料630円	3,510円

ご注文・お問い合わせはUMIウェルネス株式会社まで

**☎0120-657-032**

午前9:00～午後5:30 月～金曜日(平日)



### 開発担当者からのメッセージ

カラダの美容成分として重要なコラーゲン、N-アセチルグルコサミンから作られるヒアルロン酸はともに、年齢を重ねるにつれて顕著に減少してしまいます。

一般的にヒアルロン酸やコラーゲンは20歳を100%とすると60歳前後で半分、80歳前後で1/4程度になってしまうと言われています。不足した栄養を補って生き生きとした毎日を送っていただきたいと思っています。



焼津水産化学工業株式会社  
商品開発センター  
神園恭世 主任

## 連結財務データ

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成23年3月31日)	当第2四半期末 (平成23年9月30日)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	11,346	11,846
固定資産	9,455	9,299
有形固定資産	6,691	6,530
無形固定資産	228	204
投資その他の資産	2,535	2,564
資産合計	20,801	21,146
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	2,790	3,081
固定負債	665	469
負債合計	3,455	3,551
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	17,453	17,640
資本金	3,617	3,617
資本剰余金	3,414	3,414
利益剰余金	10,427	10,614
自己株式	△ 5	△ 6
その他の包括利益累計額	△ 107	△ 44
その他有価証券評価差額金	△ 51	5
為替換算調整勘定	△ 56	△ 50
純資産合計	17,345	17,595
負債・純資産合計	20,801	21,146

- **資産**  
固定資産が減少しましたが流動資産が増加したことから3億44百万円増加しました。
- **負債**  
固定負債が減少しましたが流動負債が増加したことから95百万円増加しました。
- **純資産**  
利益剰余金が増加したことなどから2億49百万円増加しました。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
売上高	10,680	10,255
売上原価	8,156	7,877
売上総利益	2,524	2,378
販売費及び一般管理費	1,968	1,814
営業利益	556	564
営業外収益	56	73
営業外費用	46	36
経常利益	566	601
特別利益	—	0
特別損失	97	4
税金等調整前四半期純利益	468	597
法人税等	181	242
少数株主損益調整前四半期純利益	286	355
四半期純利益	286	355

※ 水産物の問屋口銭に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価に計上する方法(総額表示)を採用していましたが、当期より、売上高から売上原価を控除する方法(純額表示)に変更しました。これに伴い、前期についても遡及適用しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	31	1,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 372	△ 104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 339	△ 200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 13	△ 5
現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	△ 693	942
現金及び現金同等物の期首残高	2,948	2,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,254	3,456

- **営業活動によるキャッシュ・フロー**  
四半期純利益が伸びたため、増加した資金は12億52百万円となりました。
- **投資活動によるキャッシュ・フロー**  
有形固定資産の取得などにより、減少した資金は1億4百万円となりました。
- **財務活動によるキャッシュ・フロー**  
配当金の支払などによって、減少した資金は2億円となりました。

## 会社概要(平成23年9月30日現在)

商 号	焼津水産化学工業株式会社
事 業 内 容	天然調味料及び機能食品の製造販売
資 本 金	36億1,764万円
創 業 年 月 日	昭和34年5月15日
取 引 銀 行	静岡銀行本店営業部/りそな銀行東京営業部
事 業 所	
静岡本部	〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静岡・中京銀静岡駅前ビル6F TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031
焼津本社	
営 業 所	東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、静岡営業所、九州営業所
工 場	静岡県内3工場(焼津・団地工場 榛原工場 大東工場)

連 結 子 会 社	● <b>オーケー食品株式会社</b> 資 本 金 50百万円 当社の議決権比率 100% 主 業 業 務 香辛料・顆粒調味料の製造・販売
	● <b>マルミフーズ株式会社</b> 資 本 金 100百万円 当社の議決権比率 100% 主 業 業 務 水産物の加工・販売
	● <b>大連味思開生物技術有限公司</b> 資 本 金 505百万円 当社の議決権比率 100% 主 業 業 務 調味料等の製造・販売
	● <b>UMIウェルネス株式会社</b> 資 本 金 50百万円 当社の議決権比率 100% 主 業 業 務 健康食品の通信販売

## 株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬
株 主 確 定 基 準 日	(1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 (2) 期末配当金受領株主 3月31日 (3) 中間配当金受領株主 9月30日 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日
単 元 株 式 数	100株
上 場 金 融 商 品 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部
株 主 名 簿 管 理 人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 (〒168-0063)
同 事 務 取 扱 所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号(0120)78-2031【フリーダイヤル】

同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店 日本経済新聞に掲載致します。
公 告 掲 載 新 聞	(1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構
株 式 に 関 する	(ほぶり)に株式がある場合
各 種 手 続 き の	▶ 株主様が口座を開設している証券会社
お 申 し 出 先	(2) 特別口座に株式がある場合 ▶ 中央三井信託銀行株式会社 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤル またはホームページをご利用ください。 フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付: 自動音声案内) ホームページ <a href="http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html">http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html</a>

※ 配当金領収書で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスのご案内」をご覧ください。